

BS バイオスティミュラント



fullbody[®] 1ℓ

フルボディ



根張り向上に効果的!

腐植物質(フルボ酸・フミン酸)、海藻抽出物

灌注処理

環境ストレス耐性の向上により生育促進

定植時のストレス軽減

収量増加・品質向上・樹勢改善

日本バイオスティミュラント協議会自主基準に基づく表記

BS製品の分類	腐植物質、海藻抽出物
BSの主たる効果・効能	収量改善、秀品率の改善、環境ストレス耐性(耐暑性・耐寒性・耐乾燥性・塩害耐性)を高める、水分吸収の改善、樹勢改善、成り疲れ改善、外部損傷の修復

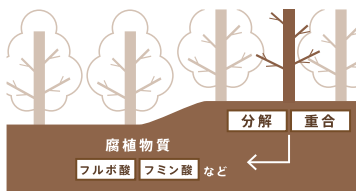
LIDA
製造元 plant research

使用原料

腐植物質(フルボ酸・フミン酸)

動植物などが微生物による分解や重合を繰り返して形成された生成物である腐植のうち、酸性の無定形高分子有機物等のことを言います。

製品分析値 (保証するものではありません)
フルボ酸10.66%, フミン酸4.89%, 合計15.55%



※模式図

海藻抽出物 *Ascophyllum nodosum*

North Atlantic 沿岸の高品質原料を使用しています。

肥料成分

- 登録番号 輸第104897号
- 肥料の種類 液状肥料
- 保証成分(%)
 - 窒素全量(TN) 8.0
 - 水溶性りん酸(WP) 5.0
 - 水溶性加里(WK) 5.0

使用方法

作物名	散布時期	目的と効果	希釈倍数(倍)	使用方法	
葉菜類 根菜類 豆類	育苗時～定植前	定植ストレス軽減 根張り向上	1000～2000 (500ml/セルトレイ)	土壌灌注 (又は葉面散布)	
	生育期		1000～2000		
果菜類	育苗時～定植前		1000～2000 (500ml/セルトレイ) (2.5ℓ/ポット苗100株)		灌注処理
	生育期		1000～2000		
水稻	育苗時		1000～2000 (500ml/育苗箱)	水口施用	
	幼穂形成期		10aあたり0.5～1ℓを 希釈して水口施用		
芝	更新時 (春～秋)	100以上 (100～200ml/m ²)	土壌灌注 (又は葉面散布)		

※養液土耕栽培に使用できます。



フルボディに含まれる「フルボ酸・フミン酸」と「海藻抽出物」とは

フルボ酸・フミン酸

フルボ酸・フミン酸は下記の効果が一般的に知られています。

① 物理的効果: 土壌の団粒形成の促進

- ・根が伸びやすい環境を作ります。
- ・土壌自体の呼吸や酸素活性を高めます。
- ・土壌の通気性や吸水性を良くします。

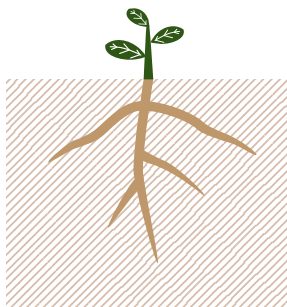
② 化学的効果: 土壌の緩衝能力・保肥力の向上

③ 生物的效果: 根張り向上、有用微生物群の増殖

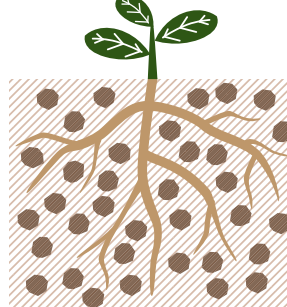
海藻抽出物

海藻中に含まれる天然物質が根の伸長を促し、定植ストレスを軽減することが知られています。

単体構造の土壌



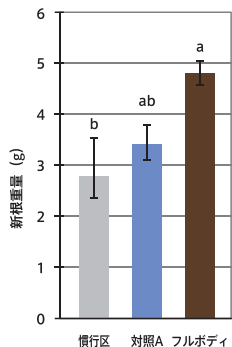
団粒構造の土壌



※模式図

試験事例

トマト: 根張り向上



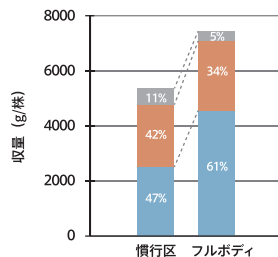
- 品 種: CF桃太郎はるか
- 処 理: 1/5000aポットに定植した直後にフルボディ1000倍希釈液を灌注処理(200ml/株)。
- 調査項目: 処理1週間後に根鉢から新たに発生した新根を切り取り重量を計測した。

フルボディの灌注処理により新根重量が増加、根張り向上を確認した。

※異なるアルファベット間において1%水準で有意差があることを示す。(Tukey-kramer法)

試験地: OATアグリオ株式会社栽培研究センター(2019年)

きゅうり: 養液土耕栽培での灌注効果



- 規格外
 - B品 (曲がり4cm以内)
 - A品 (曲がり2cm以内)
- ※は5%水準で無処理区と有意差があることを示す(t-検定, n=7)

- 期間: 2019年1月21日~2019年4月25日
- 処理: 定植直後から1000倍希釈液を500ml/株/週灌注処理 (通常はタンクミックスA&Bで栽培、無処理は同量の養液成分相当をタンクミックスA&Bで処理)
- 調査: 収量、根乾物重及び出液速度 (栽培終了後、主茎を地際から10cmで切り取り切断面に脱脂綿を設置し一定時間静置したのち脱脂綿の重量増加から出液速度を算出)

細根の増加(2.7倍)により養水分吸収が活発(+32%)になった結果、明確な増収効果がみられ、曲がり果の発生率が低下した。

試験地: OATアグリオ株式会社栽培研究センター(2019年)

はくさい苗: 根鉢形成



- 品種: 黄ごころ80
- 処理: 播種18日後に1000倍希釈液を500ml/セルトレイ灌注処理
- 調査: 処理8日後に苗を抜き取り、根鉢形成を観察した。

フルボディ処理により苗抜き取り時の根域の崩れが大幅に減少した。

試験地: OATアグリオ株式会社栽培研究センター(2019年)

△ 使用上・保管上の注意

1. 肥料以外の用途には使用しないでください。
2. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
3. 使用後は洗眼やうがいをして、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
4. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
5. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
6. 静置すると有機成分由来の沈殿が発生することがありますので、よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
7. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合のみご使用ください。
8. 希釈液は腐敗しやすいので、その日のうちに使いきってください。
9. 高温時における日中の使用はさけてください。
10. 氷点下になると結晶が発生したり、高温になる場所(温室など)では沈殿が発生するおそれがありますので、直射日光を避け、密栓し、室内の冷暗所で保管してください。
11. 養液土耕栽培に使用する場合には、給液後に必ず水又は液肥で点滴チューブを洗浄してください。
12. 開封時に製品の特性上特有の臭気(アンモニア臭)がしますので、直接顔を近づけないでください。

取り扱い